



## 家庭学習のすすめ

くだんしょうがっこう

九段小学校のみなさんへ

★<sup>すこ</sup>少しずつの<sup>どりよく</sup>努力を<sup>つ</sup>積み<sup>かさ</sup>重ねましょう★

- <sup>かていがくしゅう</sup>家庭<sup>じかん</sup>学習の<sup>き</sup>時間を決めましょう。
- <sup>がっこう</sup>学校の<sup>しゅくだい</sup>宿題はできるだけ<sup>さいしょ</sup>最初にすませましょう。
- <sup>じぶん</sup>自分から<sup>とく</sup>取り組みましょう。自分で<sup>じぶん</sup>一歩<sup>いっぽ</sup>が<sup>たいせつ</sup>大切です。
- <sup>まいにちつづ</sup>毎日<sup>けいぞく</sup>続け<sup>ちから</sup>ましょう。「**継続は力なり**」です。

保護者の皆さんへ

- お子さんに応じた学習の習慣を付けさせてください。
- 学習したことを認め、励まし、ほめてあげてください。
- 低学年では、基本的な学習習慣を身に付けさせてください。
- 中学年では、自立の芽を大切に育ててください。
- 高学年では、子どもの自主性を大切にしてください。

**「自ら一歩で学ぶ力」を育てましょう**

「自分からあいさつする」「自分から行動する」「自分で考える」など「自分から・・・する」力は、将来、子どもたちが社会人として自立するための基礎となる大切な力です。学習面では、自分からすすんで取り組む姿勢が大切です。学習内容の定着が確かなものとなり、学力がより一層向上していきます。家庭学習のすすめは、「自ら一歩で学ぶ力」を身に付けることを目指します。お子さんと一緒にご覧いただき、家庭学習がさらに充実するようにご活用いただければ幸いです。



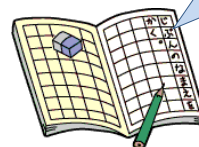
# かてい<sup>がく</sup>しゅう（てい<sup>がくねん</sup>学年）学習時間の目安 <sup>めやす</sup> 10～20分

## じぶんからはじめましょう

### 1 こくごのべんきょう

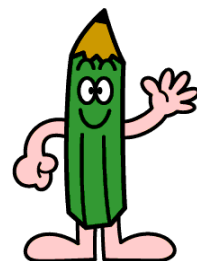
- (1) こくごのきょうかしよが、すらすらよめるように れんしゅうしましょう。
- (2) できるようになったら、かいわ<sup>ぶん</sup>文や「、」「。」に<sup>き</sup>気をつけてよみましょう。
- (3) ならったかん<sup>じ</sup>字をかきじゆんに<sup>き</sup>気をつけて、ていねいにノートにれんしゅうしましょう。
- (4) きょうかしよの<sup>ぶん</sup>文しよをノートにていねいにうつしましょう。
- (5) どくしよをしましょう。

ノートにていねいな  
もじでかこう！



### 2 さんすうのべんきょう

- (1) たしざんやひきざん、かけざんが<sup>ただ</sup>正しくできるようにしましょう。
- (2) さんすう（けいさん）ドリルやきょうかしよのもんだいを<sup>ただ</sup>正しくできるように れんしゅうしましょう。
- (3) さんすうのもんだいをつくりましょう。



### 3 そのほか

- (1) 生きものをかんさつしましょう。
- (2) ふしぎにおもうことをじてんやずかんをつかってしらべてみましょう。
- (3) じょうぎやはさみをじょうずにつかえるようにしましょう。
- (4) 日<sup>にっ</sup>きやさく<sup>ぶん</sup>文をかきましょう。
- (6) よんだ<sup>ほん</sup>本のことやたのしかったことをえ<sup>にっ</sup>日きにかきましょう。
- (7) いえ<sup>ひと</sup>の人や先生<sup>せんせい</sup>などにおしえたいことを文<sup>ぶん</sup>にかきましょう。  
ひと<sup>ぶん</sup>一つの文からはじめて、ふた<sup>ぶん</sup>二つの文、みつ<sup>ぶん</sup>三つの文とふやしていきましょう。



### 4 かてい<sup>がく</sup>しゅうのポイント

- (1) テレビをけて、トイレをすませ、しゅう<sup>ちゅう</sup>中しましょう。
- (2) つくえ<sup>うえ</sup>の上などを、きれいにかたづけてしましょう。
- (3) べんきょうするじかんを、きめましょう。
- (4) <sup>ただ</sup>正しいしせいで、べんきょうしましょう。
- (5) しゆくだいと<sup>おん</sup>音どくを、まい<sup>にち</sup>日しましょう。
- (6) しゆくだいがおわたたら、ふくしゅうしましょう。
- (7) かてい<sup>がく</sup>しゅうがおわたたら、あしたの<sup>がく</sup>学しゅうのじゆんびをしましょう。

# 家庭学習（中学年）学習時間の目安 30～40分

## 自分から進んで取り組みましょう

### 1 国語の勉強

- (1) 教科書の文を読み、ノートにていねいに写しましょう。
- (2) 習った漢字を使って、短い文を作りましょう。
- (3) 新しく習った漢字や、おぼえていない漢字を練習しましょう。
- (4) 好きな本や教科書を音読しましょう。
- (5) 分からない言葉があったら、辞書で調べましょう。
- (6) ことわざを調べて使いましょう。

辞書は友だち！

いつでも使えるように  
用意をしておこう！

### 2 算数の勉強

- (1) 教科書やドリルの問題をもう一度やりましょう。
- (2) 目標時間を決めて計算問題をやりましょう。
- (3) 三角定規や分度器、コンパスを使って、いろいろな図形をかきましょう。
- (4) まちがえた問題は、もう一度やりましょう。

### 3 そのほか

- (1) 日本地図を見ながら、都道府県の位置を覚えましょう。
- (2) 太陽や月の動きや星を観察しましょう。
- (3) 動物や植物について調べましょう。
- (4) いろいろな言葉、ものの由来を調べましょう。
- (5) 新聞で気になる記事を写したり、考えを書いたりしましょう。
- (6) リコーダーや鍵盤ハーモニカを練習したり、覚えた歌をお家の人に聞いてもらったりしましょう。
- (7) 東京都や千代田区のことを調べましょう。
- (8) したことや思ったことをよく思い出して、相手に伝わるような日記を書きましょう。
- (9) 美術館や博物館に行ってみよう。

### 4 復習

学校で授業をより深く理解するためには、復習することが効果的です。

○復習：授業で学習した内容を家で振り返ります。ノートを読み返してみましょう。自分で「大丈夫だ、分かった」と思ったら「OK」などのしるしをつけていきます。そうすることで、分かるところと分からないところがはっきりします。分からないところは分かるまで教科書とノートを見直しましょう。

### 5 家庭学習のノート（自学ノートの活用）

3年生は、毎日の宿題の徹底を改めて行います。家庭学習のノートの提出は、4年生からです。

4年生は、家庭学習のノートを作ります。1学期は、家庭学習をすすめるにあたっての準備期間です。少しずつ取り組みますが、学習規律や九段スタンダードを基に生活規律を定着することに力を入れます。2学期から具体的に取り組みます。毎日1ページを目標にやってみましょう。継続することが大切です。

# 家庭学習（高学年）学習時間の目安 50～60分

## 自分から進んで計画的にがんばりましょう

### 1 国語の勉強

- (1) 教科書の詩や気に入った文章をノートにていねいに写しましょう。
- (2) 習った漢字を使って、短い文を作りましょう。
- (3) 新しく習った漢字や、覚えていない漢字を練習しましょう。
- (4) 好きな本や教科書を音読しましょう。
- (5) 辞書をいつも用意し、分からない言葉の意味や使い方を調べましょう。
- (6) ことわざや四字熟語などを調べて使いましょう。

辞書は友だち！

1年間に何語くらい調べるかな？

### 2 算数の勉強

- (1) 教科書やドリルの問題をもう一度やりましょう。
- (2) 目標時間を決めて計算問題をやりましょう。(例：10分で20問)
- (3) 三角定規や分度器、コンパスを使って、いろいろな図形をかきましょう。
- (4) その日の授業で間違えた問題や似た問題をもう一度やりましょう。

### 3 その他

- (1) 地図帳を見ながら、地名や特産品・特徴などを調べましょう。
- (2) 歴史の年表を見たり、人物について調べたりしましょう。
- (3) 家でもできる理科の実験をやりましょう。(安全に気を付けて)
- (4) 動物や植物の特徴について調べ、まとめましょう。
- (5) 自分の将来の夢や最近気になることについて調べてまとめましょう。
- (6) 新聞で気になる記事の内容をまとめたり、自分の考えを書いたりしましょう。
- (7) 楽器の練習をしたり、覚えた歌を家の人に聞いてもらったりしましょう。
- (8) 日本や世界のことを調べましょう。
- (9) その日の出来事を思い出して、自分の感じたことやその時の周りの様子なども入れながら相手に伝わるように日記を書きましょう。
- (10) 美術館や博物館に行ってみよう。

### 4 予習・復習

学校で授業をより深く理解するためには、予習・復習することが効果的です。

- 予習：次回に習うところを読みます。読むことで、授業で何を勉強するかを知ることができます。声に出して読んだり、ノートに書いたり、分かる問題を解いてみたりするとより効果的です。
- 復習：授業で学習した内容を家で振り返ります。ノートを読み返してみましょう。自分で「大丈夫だ、分かった」と思ったら「OK」などのしるしをつけていきます。そうすることで、分かるところと分からないところがはっきりします。分からないところは分かるまで教科書とノートを見直しましょう。

### 5 家庭学習のノート（自学ノートの活用）

5、6年生は、毎日2ページを目標にやってみましょう。途中で投げ出さないように最後までやりぬくこと、継続することが大切です。毎日やることを決めて取り組みましょう。続けることが力になります。自ら学ぶ習慣をつけることが一番のめあてです。